

いすみ市地域公共交通会議・いすみ市地域公共交通活性協議会 会議録

日 時 平成29年1月23日(月)午後1時30分～

場 所 いすみ市役所大原庁舎3階 大会議室

出席委員(11名)

いすみ市副市長	上島 浩一
千葉県土木整備部夷隅土木事務所所長	秋葉 利信
千葉県いすみ警察署交通課長	河野 勝
一般社団法人千葉県バス協会専務理事	花崎 幸一
学識経験者	出口 幸弘
学識経験者	石井 敏雄
学識経験者	吉田 優
市民代表	田中 和男
市民代表	市原 一彦
市民代表	川島 啓太郎
一般乗合旅客自動車運送事業者(千葉中央バス株式会社)	須藤 隆哉

代理出席(1名)

いすみ鉄道株式会社代表取締役社長	代理	長谷川 俊則
------------------	----	--------

欠席委員(6名)

国土交通省関東運輸局千葉運輸支局首席運輸企画専門官(輸送監査担当)	中村 光秀
千葉県総合企画部交通計画課企画調整班班長	岡崎 晃士
東日本旅客鉄道株式会社勝浦駅長	雨宮 謙太
千葉県タクシー協会外房支部長(浪花タクシー有限会社)	松本 眞
学識経験者	井上 和政

一般乗合旅客自動車運送事業者（小湊鉄道株式会社）

平野 孝之

事務局（3名）

企画政策課課長

三上 耕一

企画政策課課長補佐

市原 正一

企画政策課企画班班長

石川 伸一郎

議題

- （1）地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について
- （2）市内バス乗車実績について
- （3）デマンド交通乗車実績について

【開会】

事務局（市原課長補佐）

ただいまより、いすみ市地域公共交通会議を開会いたします。

【あいさつ】

事務局（市原課長補佐）

開会にあたり、出口会長よりご挨拶をいただきたいと存じます。

〔出口会長あいさつ〕

事務局（市原課長補佐）

ありがとうございました。議題に移りますが、以降の議事進行につきましては、いすみ市地域公共交通会議設置要綱第6条第1項の規定により、出口会長にお願いしたいと存じます。

よろしく願いいたします。

【議題（1）地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について】

会長（出口会長）

それでは、暫くの間、議事進行を務めさせていただきます。

「議題（2）市内バス利用実績について」を議題といたします。事務局より説明願います。

事務局（石川）

まず、最初に事業評価についてご説明します。地域公共交通確保維持改善事業の実施にあたり、実施要領には毎年度、協議会自らによる事業の実施状況の確認、自己評価を行い、

当該自己評価の結果を1月末日までに関東運輸局に報告するとともに公表することとされています。

それでは、資料2をご覧ください。地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（案）となります。昨年度までは、市内循環線及び大原巡回線の2路線13系統ありましたが、大幅なバス事業の見直しにより今年度より市内循環線のみ3系統となっています。「①補助対象事業者」としまして、本協議会のメンバーであります小湊鐵道株式会社となっています。

「②事業概要」としまして市役所大原庁舎から長者町駅、いすみ医療センターを經由し市役所大原庁舎へと戻ってきますいすみ循環1、市役所大原庁舎から長者町駅を經由して房信夷隅町支店前を終点としますいすみ循環2、市役所夷隅庁舎前から下布施を經由して市役所大原庁舎を終点としますいすみ循環3の3系統となります。「③前回の事業評価結果の反映状況」としましては、平成27年10月からの系統数の削減及び利用料金の値上により、利用者数は減少となったが、これにより事業のスリム化が図ることが出来、収支率の改善がみられ事業の維持・適正化に努めた。「④事業実施の適切性」については、生活交通ネットワーク計画に基づく事業が適切に実施されたかを、A,B,Cの3段階で評価するとなっています。3系統ともA計画に位置づけられた事業は適切に実施されていると思われま

す。「⑤目標・効果達成状況」については、生活交通ネットワーク計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成された（達成できる見込み）かを、設定した目標ごとにA,B,Cの3段階で評価し、目標・効果が達成できなかった（達成できない見込み）場合には、理由等进行分析の上明らかにするとなっています。今回の状況としては、補助対象期間（平成27年10月から平成28年9月）中の利用者目標32,000人のところ、実績は17,674人であり、系統の減少による影響が大きく、大幅に目標数値を下回ってしまいました。理由としましては、通学路線の運休、高齢の利用者がコミュニティーバスからデマンド交通への移行したことによる減少が大きな要因と考えられます。しかし交通弱者にとって重要な交通手段であり、路線バスの存在は大きく、利用者は減少したが移動手段としての維持は必要であ

り、事業のスリム化により収支率は、前年に比べ若干の上昇となっています。「⑥事業の今後の改善点」についてですが、利用実態を注視し、運行時刻の見直しに配慮しつつ、今後も利用促進に向けた継続的な啓発を実施していきます。2ページ目は、事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について記載してあります。3ページ以降は事業評価を分かりやすく補足するポンチ資料となっています。6ページ目をご覧ください。平成28年度いすみ市バス交通運行実績となります。利用者数17,674人、運行便数3,159便、1便当たりの利用者数5.6人、運行経費22,183,308円、運賃収入5,810,600円、収支率26.2%となっています。先に述べましたが、事業の大幅な見直しにより利用者数、運行便数は減となっていますが1便当たりの利用者数は、前年と同数となっており市内循環バスは市民にとって必要な交通手段だと考えられます。また、運行経費については、前年と比較し22,933,104円減の△50.8%、収支率は7.3%増となっており事業のスリム化による効果が大きく表れていると考えられます。

以上で、市内バス利用実績についての説明を終わります。

会長（出口会長）

事務局の説明がおわりました。ただ今の説明につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

【議題（3）市内バス利用実績について】

会長（出口会長）

質問が無いようですので続きまして、「議題（3）市内バス利用実績について」を議題といたします。事務局より説明願います。

事務局（石川）

それでは、「市内バス利用実績」についてご説明させていただきます。資料3をご覧ください。平成28年12月までの利用者実績となっています。左から市内循環線、いすみシャトルバスの順に記載してございます。

市内循環線は、平成27年10月より市内循環線は、3系統、土日祝日を除く週5日の運行となっており、平成28年度の12月までの乗車実績は12,587人、月平均1,399人となっております。

いすみシャトルバスでございますが、23,200人、月平均2,578人で前年より若干の増となっております。(前年21,828人・2,425人/月)

資料3の2ページをご覧ください。市内循環線は運休及び料金の改定をしたことにより乗車実績は減となりましたが、料金収入は、4,294,700円、月平均477,189円となっております。

いすみシャトルバスにつきましては、料金収入は、9,675,520円、月平均1,075,058円となっております。

以上で、市内バス利用実績についての説明を終わります。

会長（出口会長）

事務局の説明がおわりました。ただ今の説明につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

【議題（3）デマンド交通利用実績について】

会長（出口会長）

質問が無いようですので続きまして、「議題（3）デマンド交通利用実績について」を議題といたします。事務局より説明願います。

事務局（石川）

それでは、「デマンド交通利用実績」についてご説明させていただきます。

資料4をご覧ください。平成28年12月までの利用実績を夷隅・岬・大原と地域ごとに表した資料となっております。夷隅地域の利用実績は3,531人、1日当たり19.4人となっております。前年と比較すると500人以上の減、1日当たり3人程度の減となっております。夷隅地域は減少傾向にあります。（前年4,089人、22.4人/日）

次に岬地域でございますが、利用実績として4,390人、1日当たり24.1人となっております。前年と比較しますとほぼ横ばい状態であると考えられます。（前年4,501人、24.8人/日）

最後に大原地域でございますが、利用実績は6,905人、1日当たり37.9人となっております。平成28年6月から1台の増車を行っておりますので単純に利用者の比較は出来ませんが、大幅な増となっております。

3地域全体で料金収入は、5,930,400円となっております。（前年4,805,200円）

以上で、デマンド交通利用実績についての説明を終わります。

会長（出口会長）

事務局の説明が終わりました。ただ今の説明につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

委員（石井委員）

利用料金を200円から400円に上げたことによる影響はありましたか。

事務局（石川）

デマンド交通に関しましては、利用料金値上げの影響は、特に見られません。

会長（出口会長）

ほかにご質問ございませんか。

委員（吉田委員）

夷隅地域でのデマンド交通の利用者の減が、大きく見られますがどのようなことが原因だと考えられますか。

事務局（石川）

デマンド交通は、特定の高齢者が利用する率が多く、利用されていた方が入院等で利用できなくなったりすることにより延べ人数としてのカウントが大きく減少します。夷隅地域は、3地区の中で一番人口が少なく、代替えとなる次の利用者の現れる率が低いことなどが理由と考えられます。

【議題（5）その他】

会長（出口会長）

ほかにご質問ございませんか。無いようでしたら、続きまして、「その他」ということで何かございますでしょうか。

会長（出口会長）

無いようでしたら、以上で議事を終了させていただきます。以降の進行につきましては、事務局にお願いいたします。ご協力ありがとうございました。

【閉会】

事務局（市原課長補佐）

以上をもちまして、いすみ市地域公共交通会議を終了とさせていただきます。

長時間にわたり、ありがとうございました。